

<u>CLASSE :</u>	<h1 style="text-align: center;">フランス語で読む語学入門</h1> <h2 style="text-align: center;">～ドイツ語編～</h2> <h3 style="text-align: center;">CEM-62/7</h3>
<u>Jour :</u>	土曜日 全3回
<u>Horaires :</u>	14:30-15:20
<u>Niveau :</u>	A1/A2
<u>M./Mme :</u>	M. Takanori SHIMAZAKI
<u>Objectifs :</u>	フランス語で文法を説明した記述を読み、中級程度の読解力をやしなう
<u>Descriptif :</u>	<p>フランス語学習者は、日本語、あるいはフランス語で書かれた本によってフランス語学習を進めることになると思います。それはつまりフランス語内部の視点からフランス語を、そして日本語という外部の視点からフランス語を説明する試みです。そこで今回は、フランス語の視点から別の言語を眺めてみるという体験をしてみたいかがでしょうか。</p> <p>ドイツ語とフランス語は、同じインド・ヨーロッパ語ですが、ゲルマン語派とイタリック語派という違うグループに分類される言語です。フランス語で書かれたドイツ語の入門書を読むと、注意すべきフランス語との相違点が指摘されていますが、そこには逆にフランス語の特徴が浮き彫りにされているともいえるのです。</p> <p>この3回の授業では、フランス語がどのようにドイツ語を説明しているかを読むことを通してフランス語の特徴を見直し、学習に役立てられるとよいと思います。</p>
<u>Matériel :</u>	LES LANGUES POUR TOUS シリーズの Allemand 40 Leçons からの抜粋(事務所でプリントを配布)
<u>Remarques :</u>	